# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

<u>堺市立東浅香山小学校</u>校長 忠見 亜由美

## 中学校区におけるめざす子ども像

自分の目標とゆめをもち、互いの個性を認め合える(豊かな心)

#### 令和6年度 重点目標

学校教育目標「一人ひとりがかがやく学校づくり」 校訓「よく考え 協力して やりぬく子」 の育成を目指し、 重点目標 1. 未来を切り拓く力の育成 (1)「総合的な学力」の育成 (2)豊かな心と健やかな体の育成

2. 安全・安心な学びの場づくりと学校力の向上 3. 学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進 に向けて取り組む。

#### 「確かな学び」の現状

- ・「学習スタンダード」の取組により、学習規律を守れる子どもが増えてきたが、チャイム着席や集中力という点では、課題が見られる。「学習スタンダード」の徹底を図れるよう、教職員で共通理解を図っていく。
- ・「自主学習ノート」の取組では、個に応じた活用が広がってきている。
- ・わかりやすい授業をめざした授業のユニバーサルデザインの取組を学校全体で推進することによって、学習の定着や理解についての成果があらわれている。

# 「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・「東浅香山10の約束」の徹底や交流タイムの取組を通して、規範意識の向上や自尊感情の醸成がみられた。今年度も、教職員でルールなどの徹底や共通認識を図っていく。
- ・あいさつに関しては、返してくれる子どもは増えてきている。今後は、自主的にあいさつができるよう、取組をすすめていく。
- ・ゴーゴーランニングなどの運動に関する取組を通して、楽しみながら体力向上を図ることができている。

大項目	生	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断 <u>基準</u> (評価のものさし)	評価方法	評価時期		進 <del>捗確</del> 認 (~11 月)		達成状況(年度末)			
	皆									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	教科学	基礎基本の確実な定着を図るとと もに、課題をつかみ考え抜く授業を 展開する。	めあてをもって学習する姿勢を徹底するとともに、繰り返 し学習することによって、基礎基本の確実な定着を図る。	めあてをもち、問題解決のできる授業が増 え、定着度テスト等で基礎基本の定着が見ら れる。	定着度テスト 学力調査等	毎月 5月	0	めあてをもち,学習する姿勢を徹底するよう,声か けをしている。	©	めあてを意識し、見通しをもって学習に取り組める 子どもの姿が見られた。「考えや思いを伝えあえる 子」の育成では、聞く力に焦点をあて取組をすすめ た結果、ペア・グループなどの小集団では簡極的に 伝え合い、聞こうとする態度が身に付いてきてい る。今後はこれまでに育成してきた「伝え合う力」 を活用して、他者と協働的に学んでいくことができ ればと考えている。	0	めあてをはっきりさせて学習することはできてい る。授業を参観していてもその姿が見られた。	
	力の向上		考えを説明・交流する力,学んだことを活用する力を育成 できる指導を工夫する。	考えを相手に伝え、学び合う場面が授業で多く見られ、活用力の高まりも見られる。	学力調査等 学校教育アンケート	5月 12月	0	「考えや思いを伝えあえる子」の育成をめざし、各 学年の発達到階を踏まえた指導を工夫している。			0	伝え合う力は参観の中では、足りていないように感じた。伝え合う力は必要である。この力がつくようもっと取り組んでもらいたい。	
	学びの基礎力の向上	学習規律のさらなる定着を図ると ともに家庭学習習慣を確立する。	●「学習スタンダード」による学習規律のさらなる徹底を図り、すべての子どもにわかりやすい授業を創造する。	子どもの授業に対する集中度が増し、学ぶ意欲が向上する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	0	学校全体で「学習スタンダード」が徹底できるよう、 取組をすすめている。	0	全教職員が意識し取り組んだ結果、学習規律を守れる子どもは増えてきているが、授業に向かう気持ちや集中力という点では、課題も多い。今後も引き続き取組を続けていく。自主学習ノートの取組は、活用が広がり、定着に向け成果が上がってきている。	0	自主学習ノートの取組は成功している。中学校の学 習にもつながる。自分の考えをまとめられる。これ からも続けていってほしい。学習規律については、	
			全学年で「自主学習ノート」の取組をすすめ、家庭学習習慣 を定着させる。	自主学習ノートの取組の定着とともに、家庭 学習、読書習慣が身に付く。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	0	自主学習ノートの定着に向け、学校掲示や教室掲示 をすすめている。				今後も取組を続けていってほしい。	
			タブレットを効果的に活用し、子ども一人ひとりが考える 授業を展開する。	多様な方法で情報収集したり、自分の考えを 表現したりできる。 活用率で昨年の数値を上回る。	実施状況 学力調査質問紙 CBT 調査	随時	0	日常的な活用や定期的な持ち帰りを行い、活用は増 えてきている。	0	さまざまな教育活動の中での活用が増えてきている。また、定期的な持ち帰りを行い、個に応じた活用も進んできている。	0	タブレットの活用は増えてきているが、使い方の指 導については、低学年から指導が必要ではないか。 取組を考えた方がよい。ネットリテラシーについて は、保護者の意識が低いと感じる。	
	個に応じた指導	学習支援対策を計画的・継続的に実施し、個に応じたきめ細かな指導を 充実する。	●授業のユニバーサルデザインをさらに推進するとともに、一人ひとりの子どもの特性に合わせた指導・支援を充実する。	学習支援対策により、学習の理解や定着が深まり、学力が向上する。	実施状況学力調査等	随時 5月	0	学習支援対策の推進により、個に応じた指導を受ける子どもが増えてきている。また、教員研修を行うなど、授業や教室環境のユニバーサルデザインについてもすすめている。	0	個に応じた指導や支援により、学習意欲や自尊感情 の向上が見られる子どもが増えてきている。今後 も、授業のユニバーサルデザインや子どもの特性の 把握をすすめ、個に応じた指導・支援を進めていく。	0	不登校対策は学校外からはわかりにくい。SCの活用 や情報はもっと発信してもよいのではないか。中学 年になると、学習のつまづきから不登校傾向につな がることもあるが、保護者は中学年になると安心す ることもあるのではないか。	
		豊かな心、思いやりのある心を育成し、いじめがおこらない集団づくりに取り組む。	●「東浅香山小学校10の約束」の徹底に向けた子どもの 意識が高まる取組により、さらに規範意識の職成を図る。	校内の様々な目標やルールを守ろうとする 意識が高揚し、静謐な学習環境が整う。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	0	「東浅香山小学校 10 の約束」を徹底できるよう, 全教職員で共通理解を図りながらすすめている。	- 0	学校のルールを守れる児童は増えてきているが、チャイム着席や休み時間の過ごし方では、まだまだ課題も多い。今後も全教職員で「東浅香山小 10 の約束」を共通認識、徹底できるようにしていく。指導すべき事案が起こったときは、教職員で指導方法の共有を行い指導を行った。		「東浅香山小 10 の約束」の取組は今後も進めてほ しい。あいさつは、はじめは自分からでなくても、 返せていたら良いのではないか。あいさつを返す児	
	豊か		★あいさつの徹底、感謝の気持ちをもつことができる指導などを通して、思いやりのある心を育て、いじめがおこらない指導を徹底する。	子ども一人ひとりの自尊感情が高揚するとともに、いじめがおこらない集団となる。	実施状況 いじめアンケート	随時 毎学期	0	児童会を中心にあいさつ運動などの取組を通して, あいさつの意識を向上できるようにしている。				童は多いと思う。今後、自分からあいさつができる 児童が増えてくれればと思う。	
豊かな心・	な心の育成健やかな体の育成	学校が楽しいと思う子どもが増え るような体制づくりに取り組む。	★すべての子どもの対応について、家庭との連携を図るとともに組織的な体制で取り組み、スクールカウンセラーや 関係機関とも連携し、改善に導く。	不登校ぎみの子どもが減り, 生き生きと学校 生活を過ごす子どもが増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 1 2月	0	定例の会議や福時のケース会議の中で、個々の児童 の実態に合わせ、対応を考えている。内容によって は、外部機関や専門家とも連携をしている。	0	ケース会議や関係機関との連携を深め、不登校の児童は少し減少した。学校は楽しいかのアンケートの肯定的回答は、学年が上がるにつれ減少の傾向にある。子どもたちが目的意識を持てるよう、今後も取組を考えていく。	0	今後も続けていってほしい。	
健やかな		縦割り活動等によるリーダーの養成と仲間意識を醸成する。	●交流タイム等を通して、集団の一員としての意識を高めるとともに、それぞれの役割を意識し、自尊感情を高める 取組を推進する。	縦割り活動を通して、高学年はリーダーとしての意識が高まり、校内全体で友達のよさを 認めることができる。	実施状況 学校教育アンケート	随時 1 2月	0	交流タイムや「ひがあさフェスティバル」などの取 組を通して、高学年のリーダーとしての意識が育っ ようにしている。	0	交流タイムの活動や委員会活動などを通して、5・ 6年生に、リーダーとしての意識が育ってきてい る。また、低学年に対して優しく接する姿も多く見 られた。	0	たてわり活動は、より良い人間関係づくりにつながっている。「ひがあさフェスティバル」の取組は、成果があると思う。	
144		運動に親しむ環境を整え、体力を向上させるとともに、体力の礎となる健康教育・食育を充実させる。	ランニング等の継続した取組により、運動の楽しさを実感 させるとともに体力向上の推進を図る。	運動することが楽しいと思う子どもが増え、 体力が向上する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	0	ゴーゴーランニング等の取組を通して,体力向上の 推進を図っている。	0	ランニング、長縄とびの運動を通して、楽しんで運動に親しむ子どもが増えてきている。	0	ゴーゴーランニングでは、全員が最後まで走りぬく 姿があった。この取組が「やりぬく子」の育成につ ながっている。	
			基本的生活習慣を確立するとともに、家庭の意識が向上する健康教育・食育をより推進する。	朝食をとる,質のよい睡眠をとる子どもが増えるなど,基本的生活習慣が確立する。	実施状況学校教育アンケート	随時 12月	0	生活アンケートの実施により、児童の基本的生活習 慣の意識が向上するよう、取組をすすめている。	0	健康教育・食育・生活アンケートの取組を通して、 基本的な生活習慣について意識する児童が増えて きている。	0	食育の取組は家庭との連携も大切。スマホの使い方については、保護者が考えないといけない部分が多い。PTAとしても何か取り組めないか。	
地域協働	信頼される	学校力のさらなる向上をめざすと ともに、学校・家庭・地域の協働に よるひろがる教育を推進する。	「学校ホームページ」「校報」「生徒指導新聞」等で積極的 に学校の方針や日々の教育活動を発信し、学校・家庭が協 働する取組を進める。	学校の教育方針・教育活動に対する理解が深まる保護者が増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	0	ホームページを通して、学校の教育活動の様子を地域・保護者に発信している。	0	学校ホームページペ校報を通じて、本校の取組を地域・保護者に発信することで、本校の教育活動に理解や協力をしていただくことができた。	0	宿泊学習での IP での発信はとてもよかった。情報 の発信は、今後も続けていってほしい。	
	会校体制		登下校等の見守り活動をはじめとし、校区での安全、健全 育成等に地域と協働して取り組む。	子どもたちが安全に登下校し、学校生活が楽 しいと感じる子どもが増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	0	地域の方々やPTAの安全見守り委員の方々が、子どもの登下校の安全を見守ってくださっている。	0	地域や保護やの方々の協力のおかげで、安全に登下校できている。また、毎月の校報で、安全見守り委員の報告を発信し、安全への意識向上へつなげた。	0	地域の方の協力がありがたい。毎月の校報での発信もよかった。	

#### 校長より(年度末)

今年度は、できる行事も増え、子どもたちが意欲的にいきいきと学校生活を送ることができた。特に、学校行事などの学年での取組は、子ども一人ひとりの達成感や自尊感情の醸成につながっていた。また、個に応じた支援や対策についても、全教職員で共通理解を図り、連携して取組をすすめることができた。しかし、学校のルールの徹底においては課題も見られた。教職員の自己評価や学校アンケート結果、学校関係者評価者の皆さんからのご意見をしっかりと受け止め、来年度も、全教職員でさらなる共通認識や理解を深め、一人ひとりがかがやく学校となるよう、全教職員で取り組んでいきたい。

### 学校関係者評価者から(年度末)

今年度も行事を通して、子どもたちのいきいきとした姿がたくさん見られた。学習のルールやスマホのルールなどは、保護者との連携や、保護者が意識し取り組んでいくことも必要である。そのため、学校としても、PTAの活動としても取り組んでいってもらいたい。ゴーゴーランニングのような、子どもにやりぬく力をつける取組は、今後も続けていってほしい。